

ダイバーシティ推進 オフィス ニュース

Vol. 4

みずき ▶ Diversity Promotion Office News

平成 31 年 3 月 11 日

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ2年目が終わります。

2017年、埼玉大学は文部科学省人材育成事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に選定され、その2年度目が終わろうとしています。本事業への皆様のご協力に深く感謝しています。ダイバーシティ推進オフィスでは、すべての教職員が働きやすい職場環境づくりを目指しており、皆様からの声をお待ちしています。今後ともよろしくお祈りします。

介護セミナー&ランチミーティングを開催しました。

2月14日(木)、「介護セミナー&ランチミーティング」を、河野年明氏・今井さちえ氏(地域包括支援センター彩寿苑)をお招きし、埼玉大学研究機構棟2階第二会議室にて開催しました。当日は埼玉大学教職員の皆様など20名の参加がありました。講師を囲んでのランチミーティングでは「ショートステイの利用」「遠方に住む両親の介護」「特別養護老人ホームへの入所」など、多岐にわたるテーマが話題になりました。介護ランチミーティングは今後も定期的に行っていきます。男性・女性・介護経験有無・年齢などに関係なく、どなたでも大歓迎ですのでお気軽にご参加ください。



新年度から新たな支援策が始まります。

支援策紹介 1

病児保育利用補助事業

こんな方にお勧めです!

通常利用している保育以外の病児・病後児保育を、業務上やむを得ない理由で利用する教職員(非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る)

事業内容: 利用者が病児・病後児保育のために病児・病後児保育実施施設を利用した場合、その利用料金を補助します。利用対象者一人あたり上限1日2,000円 1家庭あたり上限10,000円



支援策紹介 2

緊急ファミサポ(病児・病後児保育支援)補助事業

こんな方にお勧めです!

緊急ファミサポの育児援助を利用した教職員(非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る)

事業内容: ファミサポ利用時と同様、緊急ファミサポ利用時にその利用料金の一部を補助します。0歳から小学校6年生までの乳幼児・児童、身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまで。1家庭あたり上限20時間分(ファミサポ利用助成以外)

緊急サポートセンター埼玉 TEL:048-297-2903

URL:<http://byoujijoiku.blog.shinobi.jp/>

そのほか、ダイバーシティ事業予算により、女性常勤教員向け学童保育利用補助事業を行います。

また、埼玉大学では女性教員が出産する場合、ならびに教員が育児休業又は介護休業を申し出た場合、代替教員を採用することができる制度もあります(詳しくは、国立大学法人埼玉大学教職員採用等規則第5条参照)。

その他のライフイベントと仕事の両立のための支援制度については、HPをご覧ください。

URL : <http://park.saitama-u.ac.jp/~kyodo-sankaku/>

埼玉大学 男女共同参画室

検索



第2回彩の国女性研究者ネットワークシンポジウム ～埼玉県の女性研究者・技術者の活躍推進と次世代育成に向けて～ を開催しました。

2018年12月21日(金) 本学総合研究棟シアター教室にて

山口宏樹学長の開会挨拶に続き、学長特別賞「みずき賞」を受賞された理工学研究科川合真紀教授のスピーチが行われました。第1部では、彩の国女性研究者ネットワーク参画機関の女性研究者・技術者の方々から機関のご紹介、研究者・技術者としての働き方等についてお話いただきました。第一線で活躍する研究者からの進路選択・キャリア形成に役立つ様々な事例を多くの学生が熱心に聞き入っていました。その後のポスターセッションでは、若手研究者が最新の研究成果を発表し、研究者同士が互いに交流を深める機会となりました。第2部では、同じく参画機関の女性研究者・技術者の方々から研究内容についてのご発表いただきました。専門的な内容を分かりやすく解説していただき、「多様な研究内容が聞けてよかった」との声も聞かれました。本シンポジウムには、本学教職員・学生だけでなく、他大学の方々や、民間機関・公的機関の方々等、合わせて143名の来場者が集まりました。



「みずき賞」受賞スピーチをされる川合教授



ご発表者の皆様



来場者で一杯となった会場

※「みずき賞」は、教育研究活動に顕著な功績を残し、かつ女性研究リーダーとして活躍する自然科学系の女性研究者を学長が表彰するものです。今回の彩の国女性研究者ネットワークシンポジウムは2019年11月15日(金)です

男女共同参画室員のご紹介

男女共同参画室員の方々を順次ご紹介いたします。

教育学部 准教授

中島 雅子

専門は「理科教育学」、「教育評価」です。今年初めて男女共同参画室のメンバーになりました。男女共同参画に関わる問題は、そのまま子育て、介護、家族の病気など、教職員すべてに関わることだと思えます。また、制度が充実されても適切に運用されなければ意味がありません。これらについて、私自身の経験などを生かしてお役に立てればと思っています。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

人文社会科学研究科 准教授

金井 郁

先日、学会でワークライフバランスについて、政治学を専攻しているコメンテーターの方が、職場と家庭のバランスだけでは市民社会は成り立たないのではないか、という問いかけがありました。政治的活動をする時間、そのための思索の時間が市民社会には必要ではないか、とのことでした。たしかに、日本社会にはそうした時間が確保されていないのではないかと気づかされました。そうした視点も大事に埼玉大学での施策を考えていきたいと思えます。

学生支援課 学生生活支援担当係長

日吉 哲郎

今年度から男女共同参画室員となりました、学生支援課の日吉哲郎と申します。都内の企業に勤める妻と共働きで、5歳の息子と3歳の娘の子育てに日々奮闘中です。個人的には、女性が更に活躍できる社会にしていくには、男性の働き方を変えていくことが大前提であると考えています。男女共同参画社会を目指していくことが、男女を問わず多くの人の幸せに繋がると信じて、本学の取組みに携わっていきたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

